

札幌地域における野菜の入荷量及び卸売価格の見通し

平成 26 年 7 月 31 日
農林水産省生産局農産部園芸作物課
電話 03-3502-8111 (内線 4822)

対象年月：平成 26 年 8 月
対象市場：札幌市中央卸売市場

【7月の経過（実績見込み）】

① 入荷の動向

7月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、四国及び九州もの等が出回った。主要野菜の入荷量は、総じて前年を下回る入荷となった。

「前年をやや上回った」のは、ほうれんそう、ピーマンの2品目である。

「前年並み」は、はくさい、ねぎ、なすの3品目である。

「前年をやや下回った」のは、きゅうり、トマトの2品目である。

「前年を下回った」のは、だいこん、キャベツ、レタス、ばれいしょの4品目である。

「前年をかなり下回った」のは、にんじん、たまねぎの2品目である。

「前年を大幅に下回った」のは、さといもの1品目である。

② 価格の動向

このような入荷状況のもとで、7月の野菜価格は、総じて前月平均をやや下回る価格となった。

「前月平均をかなり上回った」は、さといもの1品目である。

「前月平均を上回った」は、ほうれんそうの1品目である。

「前月平均並み」は、レタス、なす、ピーマン、ばれいしょ、たまねぎの5品目である。

「前月平均をやや下回った」のは、ねぎの1品目である。

「前月平均を下回った」のは、にんじん、キャベツ、トマトの3品目である。

「前月平均をかなり下回った」のは、だいこん、はくさい、きゅうりの3品目である。

【8月の見通し】

① 入荷量の見通し

8月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、近畿及び九州もの等が出回る。野菜の入荷量は、総じて前年並みの入荷が見込まれる。

「前年を上回る」のは、北海道主体のだいこん、キャベツ、たまねぎ、茨城県及び群馬県主体のなすの4品目である。

「前年をやや上回る」のは、北海道主体のばれいしょの1品目である。

「前年並み」は、北海道主体のはくさい、ほうれんそう、ねぎ、レタス、トマト、宮崎県主体のさといもの6品目である。

「前年をやや下回る」のは、北海道主体のにんじん、きゅうり、ピーマンの3品目である。

② 価格の見通し

このような入荷状況のもとで、8月の野菜価格は、総じて前月平均を下回る価格が見込まれる。

「前月平均を上回る」のは、ほうれんそう、きゅうりの2品目である。

「前月平均をやや上回る」は、だいこんの1品目である。

「前月平均並み」は、キャベツ、トマトの2品目である。

「前月平均をやや下回る」のは、にんじん、はくさい、レタスの3品目である。

「前月平均を下回る」のは、なす、ピーマン、ばれいしょ、さといも、たまねぎの5品目である。

「前月平均をかなり下回る」のは、ねぎの1品目である。

※ この資料の内容は、7月31日（木）現在で見込んだものであり、気象条件等により変動があり得る。

(参考) 入荷量と卸売価格の見込み

	8月の入荷量			8月の卸売価格			8月の主産県
	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	
だいこん	○	○	△	○	=	=	北海道(97.7%)
にんじん	○	△	○	△	△	△	北海道(99.7%)
はくさい	○	=	○	△	△	△	北海道(100.0%)
キャベツ	○	○	=	=	=	=	北海道(100.0%)
ほうれんそう	△	=	=	○	△	△	北海道(100.0%)
ねぎ	○	=	△	△	△	=	北海道(94.1%)
レタス	○	=	=	△	△	△	北海道(100.0%)
きゅうり	△	△	△	○	○	○	北海道(96.2%)
なす	○	○	=	△	○	○	茨城(61.2%)、群馬(22.7%)
トマト	○	=	=	=	○	=	北海道(100.0%)
ピーマン	=	△	△	△	△	△	北海道(95.5%)
ばれいしょ	○	○	○	△	△	△	北海道(100.0%)
さといも	○	=	△	△	○	○	宮崎(67.1%)
たまねぎ	○	○	○	△	=	△	北海道(80.0%)

入荷量と卸売価格の符号

符号	入荷量	卸売価格
○	多い	高い
=	同じ	横ばい
△	少ない	安い